

事務事業評価表(既存事業)

コード 5-3-5	事務事業名 防災行政無線(同報系)整備事業	所管部課 環境防災部防災課
--------------	--------------------------	------------------

事務事業の概要	事務事業の目的 災害時等に市民に的確に情報提供等を行うため、スピーカーで全地域に放送できる無線を整備する。	総合計画上の位置づけ (政策)災害に強いまちづくり (施策)防災無線の整備 (主要施策)防災行政無線に整備
	実施内容、実施方法 75局の地域防災行政無線を常に作動するように点検する。	根拠法令等 西東京市防災行政無線管理運用規程
	事業開始時期 平成 13 年度	実施形態 <input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()

評価指標の設定	活動指標名 点検の回数	活動指標の考え方(定義) 年2回実施
	成果指標名 点検によって修理された箇所 防災行政無線の整備率	成果指標の考え方(定義)

		単位	14年度	15年度	16年度	17年度
事務事業データ	事業費(A)		5,808	5,325	228,647	0
	国庫支出金	千円			72,535	
	都支出金					
	地方債				155,655	
	その他					
	一般財源		5,808	5,325	457	
	所要人員(B)	人	0.10	0.10	0.10	0
	人件費(C)=平均給与×(B)	千円	825	827	833	0
	総コスト(D)=(A)+(C)	千円	6,633	6,152	229,480	0
	単位当たりコスト (E)=(D)/(点検の回数)	千円			114,740	
歳入	千円					
活動指標	目標値	回			2	2
	実績値	回			2	
活動指標	目標値					
	実績値					
成果指標	目標値	箇所			4	4
	実績値	箇所			4	
成果指標	目標値	%			100	100
	実績値	%			100	

事業環境	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	
	国・都・他市・民間等における類似事業	各市同様である。
	運営上の制約条件・外部要因等	

コード 5-3-5	事務事業名 防災行政無線(同報系)整備事業	所管部課 環境防災部 防災課
--------------	--------------------------	-------------------

項目	評価結果	判断理由、説明等
事業所管部評価	実績 <input type="checkbox"/> 極めて良好 <input checked="" type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 不十分 <input type="checkbox"/> 極めて不十分	75局を年2回点検を実施し、災害時に迅速に情報収集や連絡を行うため、整備を行っている。18年1月からは毎週月・水・金の3日間を「子供を下校時から見守りましょう」を広報を行い、市民から喜ばれている。
	必要性 <input type="checkbox"/> 増大 <input checked="" type="checkbox"/> 変化なし <input type="checkbox"/> 減少、一部なし <input type="checkbox"/> かなり減少	無線を点検、整備することで、災害時に情報収集や連絡を行うことができる。
	効率性 <input type="checkbox"/> 大きく改善 <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	無線を適正に配置し、各地域ごとに情報収集することができる。
	公平性 <input type="checkbox"/> より充実 <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	全市民が情報収集できている。
	総合評価 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止	情報提供に努めている。

17年度における改善点	特になし。
-------------	-------

行革本部評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止
--------	--

評価の視点

- 実績：十分な成果をあげているか。必要以上のサービスにより、経費が過大となっていないか。など
- 必要性：国・都・民間での実施状況に鑑み、市が実施すべき事業といえるか。社会経済状況の変化を踏まえて実施しているか。廃止した場合に大きなデメリットは生じるか。など
- 効率性：限られた財源を有効に活用しているか。現在の実施方法が最も効率的な方法といえるか。など
- 公平性：サービス対象に問題はないか。利用者の利便性に配慮しているか。受益者負担の水準は妥当か。など
- 総合評価：各項目の評価及び類似団体等とのサービス水準の比較を踏まえた、今後の事業のあり方・方向性。
 - 拡充：ニーズの増大に対応して、事業を更に強化する必要があるもの。
 - 継続実施：現状水準で事業を継続していくもの。給付対象者の自然増減に伴いコストが増減する場合を含む。
 - 改善・見直し：現在の仕組みを前提としつつ、実施方法の見直しなどにより改善を図るべきもの。
 - 抜本的見直し：事業の委託化や一部廃止など、事業の仕組みを含めた根本的な見直しが必要なもの。
 - 廃止・休止：事業を休止又は廃止するもの。単年度事業など、終了が確定しているものを含む。